

ドキュメントが無いプロジェクトでどうレビューする？ 関係者全員でモブワークして成果物を作った実例 (JaSST'23 Hokuriku版)

update 2023/1/20 JaSST'23 Hokuriku

ウイングアーク1st株式会社
伊藤 潤平



WingArc1st
The Data Empowerment Company

自己紹介

- 伊藤 潤平(@jp_110)
- ウイングアーク 1 s t 株式会社
 - ソフトウェアプロセス&品質改善部 マネージャー
- 社外活動
 - Scrum Fest Niigata 実行委員会 代表
 - JaSST Niigata 実行委員
 - SigSQAメンバー
 - YouTube翻訳活動  AgileTD Zone Keynotes in Japanese
- プロフィール



https://niigatabase.shabellbase.com/engineer_01/



2021年10月22日に開催されたJaSST Review'21の再演 + α です。

ラーニングアウトカム

- モブワークで成果物を作る。
- モブワークでチームに一体感が生まれる。
- モブワークでテスト自動化までできる。

01

背景

02

やりたいこと

03

モブワーク

04

認識共有と共通理解

05

合意形成が早い

06

一体感と同時に学び

07

まとめと今後

08

続き

背景

突然のリリース承認依頼

01

要件定義書もない、仕様書もない、
もちろん、テスト設計書もない。

そんなプロジェクトに入って製品をリリースした経験
はありますか？

全てはこのチャットから

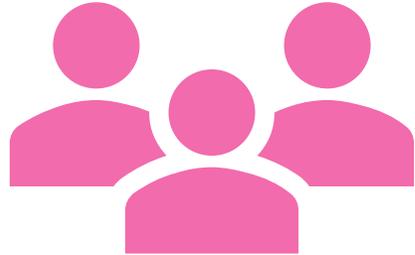


2021/07/15 11:11 編集済み

お疲れ様です。なんかご無沙汰ですね。相変わらず忙しいですか？

さんから で作成しているアプリの出荷承認作業を手伝ってほしいって聞いてます？

ヒヤリング



開発チーム

仕様書は？

ない

テストケースは？

ない

どこまでテストしてる？

だいぶやってますよ



QAチーム

空中戦

アプリの機能、操作、
細かい仕様

リリースできる品質か
わからない。
リスクは？

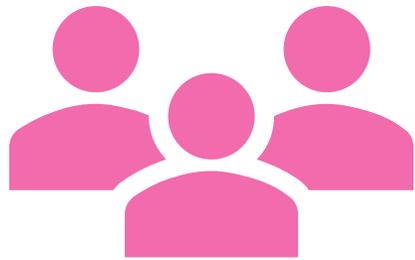


開発チーム

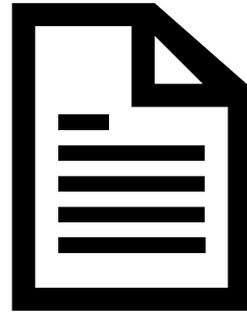


QAチーム

チーム全員が気持ちよくリリースしたい



開発チーム



ドキュメント



QAチーム

成果物を作りたい

無いなら作ろう！

02

成果物をモブで作ろう！

成果物	現状	やりたいこと
要件定義	なし	リーンキャンバス
仕様	なし	ユーザーストーリーマッピング
テスト	なし（やってるらしい）	テスト観点表



全員でモブワークして
成果物を作ろう！

モブワーク

全員でモブワークしよう！

03

計画（リリースまで1か月）

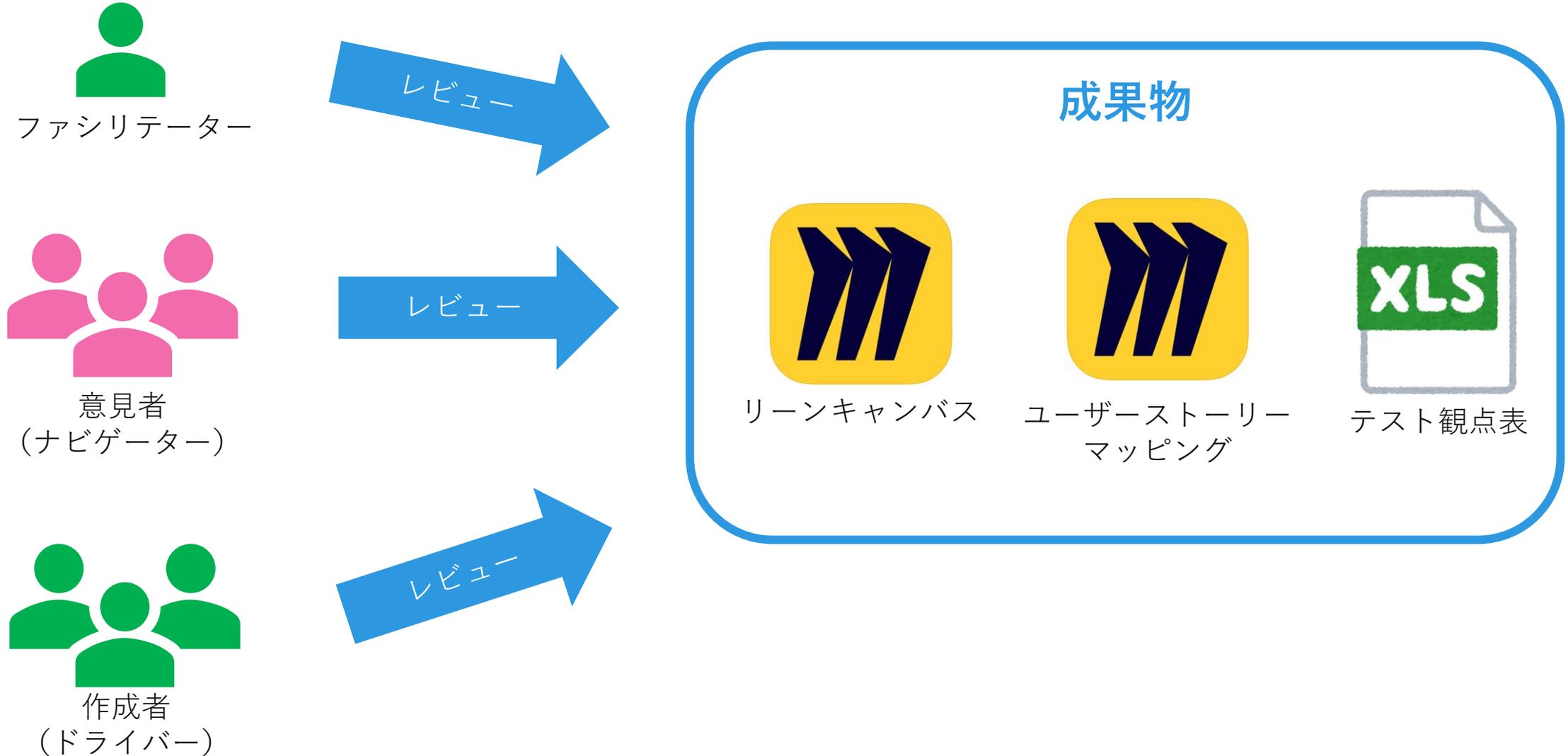
1周目 リーンキャンバス作成

2周目 ユーザーストーリーマッピング作成

3周目 テスト観点表作成

4周目 リリースに対して必要なもの整理

モブワークにおける役割と成果物



モブワークに期待する効果



認識共有と共通理解

全員で理解しよう！

04

リーンキャンバスを使って目的を知る

リーンキャンバスとは9つの項目からビジネスモデルをまとめるフレームワーク



課題

成果を上げる
目標を達成したい

ソリューション

アプリを使用して
目標達成する

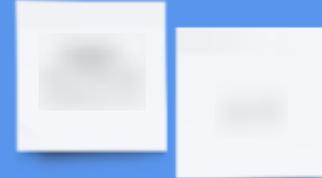
独自の価値提案



圧倒的な優位性



顧客セグメント



既存の選択肢

主要指標

電車でとなりの
の人が
アプリを
使ってた

今後
要定量化

上位概念

チャンネル

口コミ

SNS

アーリーアダプター



コスト構造

マーケの広告



収益の流れ



今後
要検討

目的の集約と新しい発見



難しかったですね。

はい。
でも今までチームの中で
会話してた内容が、1つの
キャンバスにまとめられた。

新しい発見はありましたか？

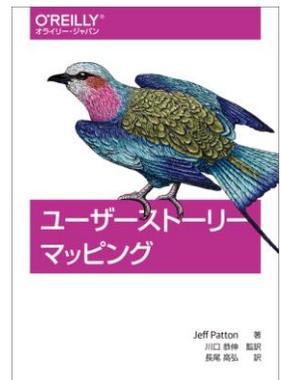
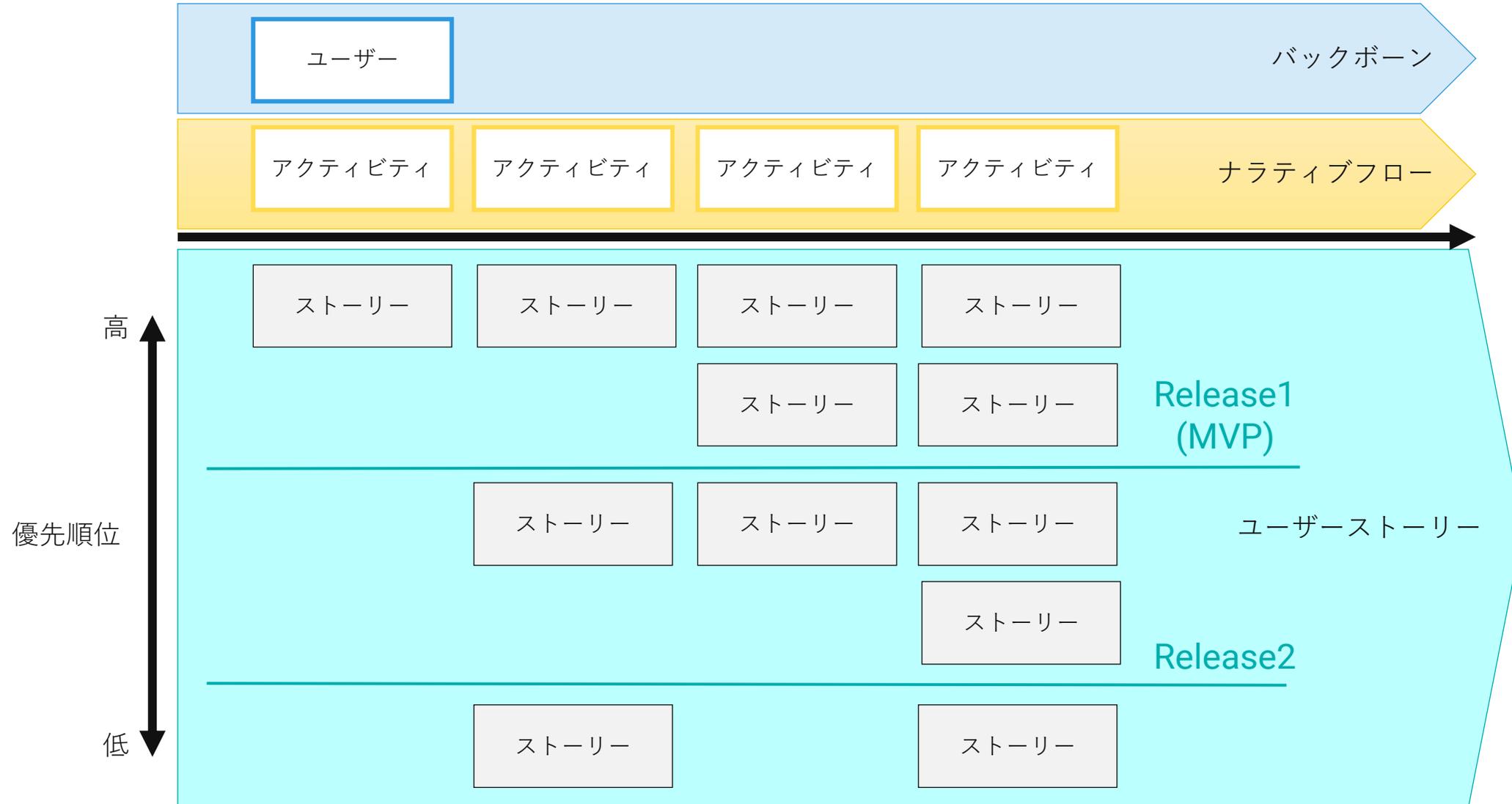
大事にしたい指標が出た。

主要指標

電車でとなり
の人が
アプリを
使ってた

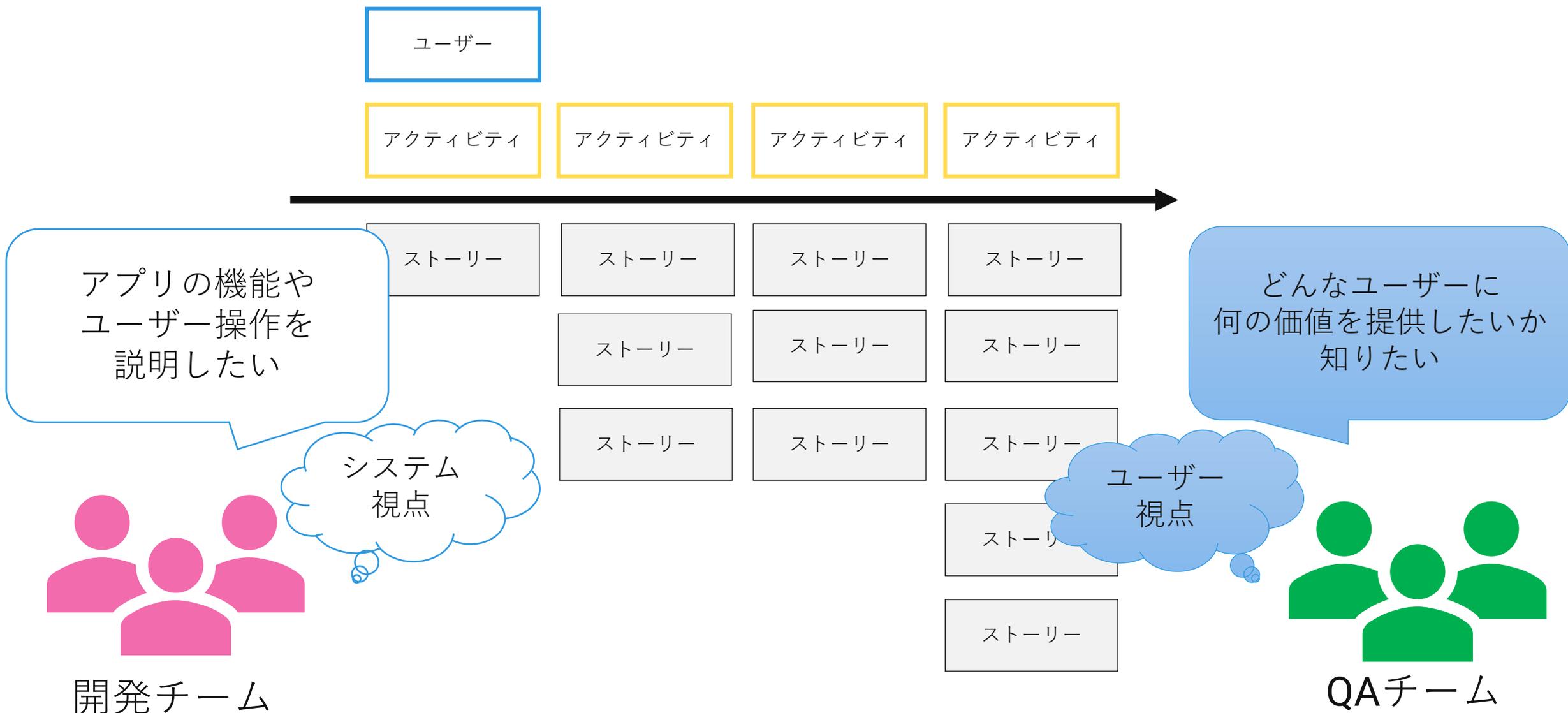


ユーザーストーリーマッピングを使って仕様や価値を知る



<https://www.oreilly.co.jp/books/9784873117324/>

様々な視点からの意見の取り込み



インストール

インストール

ログイン

プロフィールの初期設定

...

目標設定

MVP (初期設定系) | 8

ユーザーはアプリがインストールできる

ユーザーはSSOでログインできる

ユーザーはプロフィールを入力できる

...

...

+

+

+

+

ストーリーのフォーマット「WHOがWHATする」
一旦「WHY」は抜く

...

...

+

Release 2 (利用し始める系) | 14

+

+

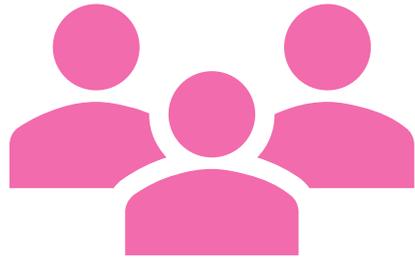
+

+

...

...

お互いの認識を共有



開発チーム

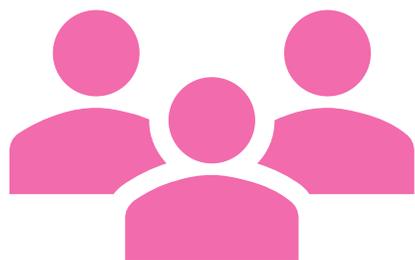
QAが気にしている、提供したい価値と、リスクの意味がなんとなくわかってきた。

アプリのアーキテクチャと、機能の仕様がわかってきた。

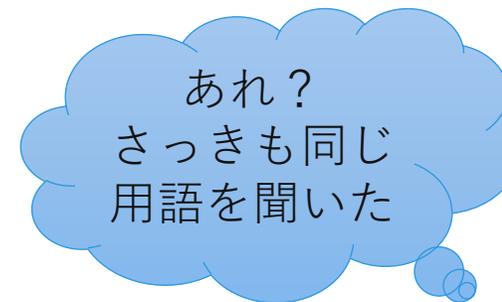


QAチーム

用語集の作成からバグをその場で修正



開発チーム



もしかして、用語がバラバラ?

確かに人によって認識が違うかも

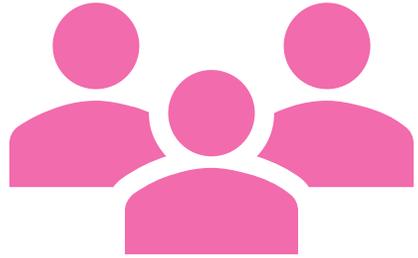
用語集を作って整理しましょう。

ということは、この辺はUIバグだ。



QAチーム

隠し機能の発見



開発チーム

ユーザー操作ミスを防ぐために、
確認ダイアログがあった方が良いでしょう。

実は隠し機能があって。。。。

え？

ストーリーに盛り込みましょう。



QAチーム

テスト観点表を作ってどこまでテストしているかを知る

ユーザーはSSOでログインできる

AC

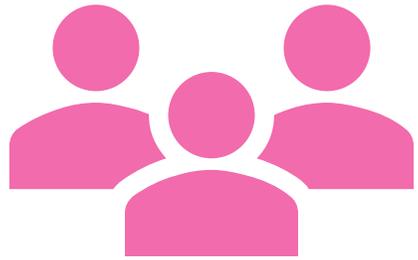
- ・ユーザーはAppleIDでログインできる
- ・ユーザーはTwitterでログインできる
- ・ユーザーはFacebookでログインできる

テスト観点表に反映

ストーリーに
AC（受け入れ条件）を設定

ストーリー	観点	テストケース	チェックポイント
	ログイン		
	ログインできる	SSO AppleID Twitter Facebook	指定した方法でログインが可能であること
3.0	設定(アプリ内)		
3.1	プロフィール編集	必須 ユーザ名(ニックネーム) 生年月日 未入力、日付以外の文字 性別 未入力	項目に入力文字が表示されること それぞれの項目に、プロフィールを登録できること
		非必須 プロフィール画像を変更 国名 都道府県	

テストの範囲



開発チーム

実行したテストを整理すると、だいぶ見えてきますね。

今まで自分たちが実行していたテストはほんの一部だった。

実行していないテスト観点も見えて、リスクがあることを知った。



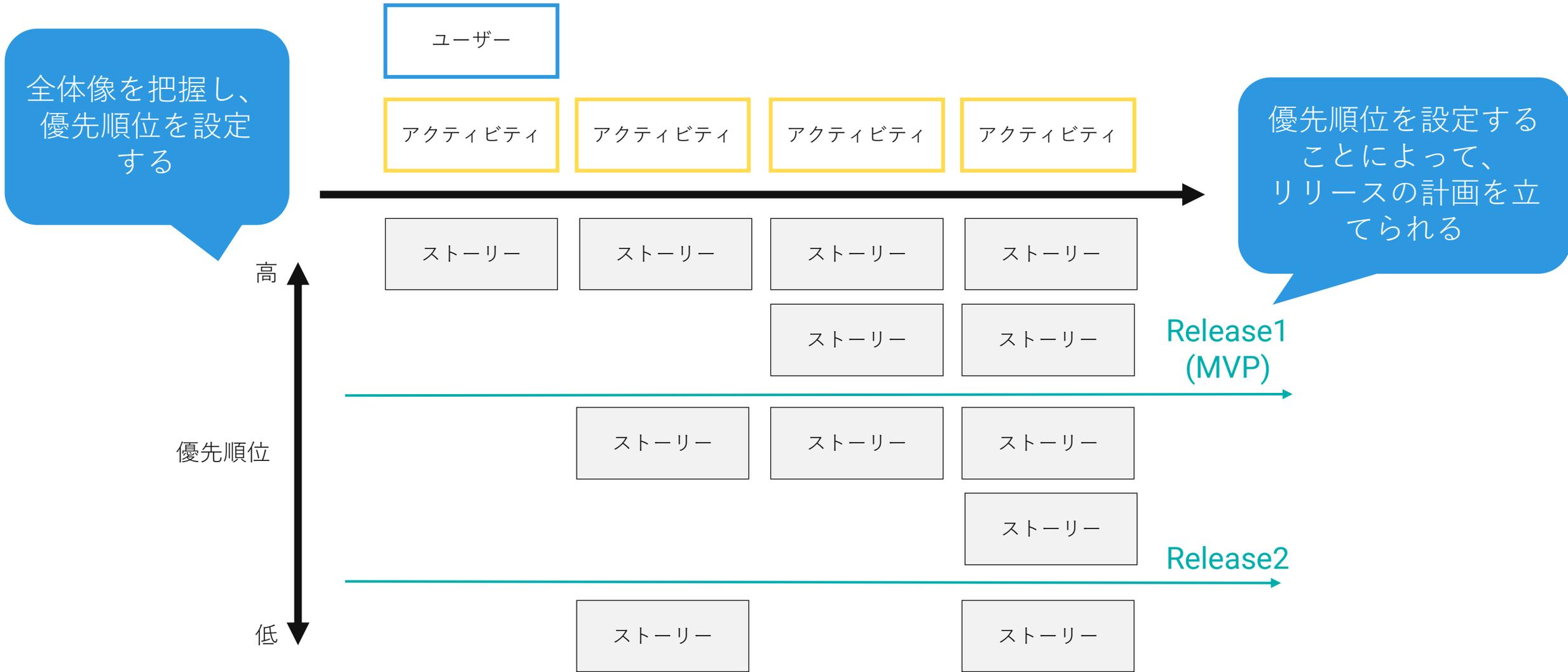
QAチーム

合意形成が早い

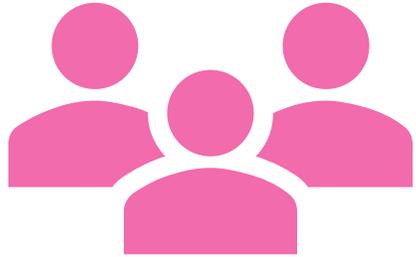
リリースまでに確保すべき品質を決めよう！

05

優先順位を設定し、リリース計画を立てる



リリースの範囲をその場で合意形成



開発チーム

今回のリリースはここまでの機能のテストでいいですか？

はい、OKです。

利用ユーザーが増えた時の性能面のテストはリリース後？

次回リリースまでにテストでOKです。

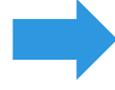
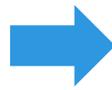
次回リリースはいつ頃を予定していますか？

来月計画します。



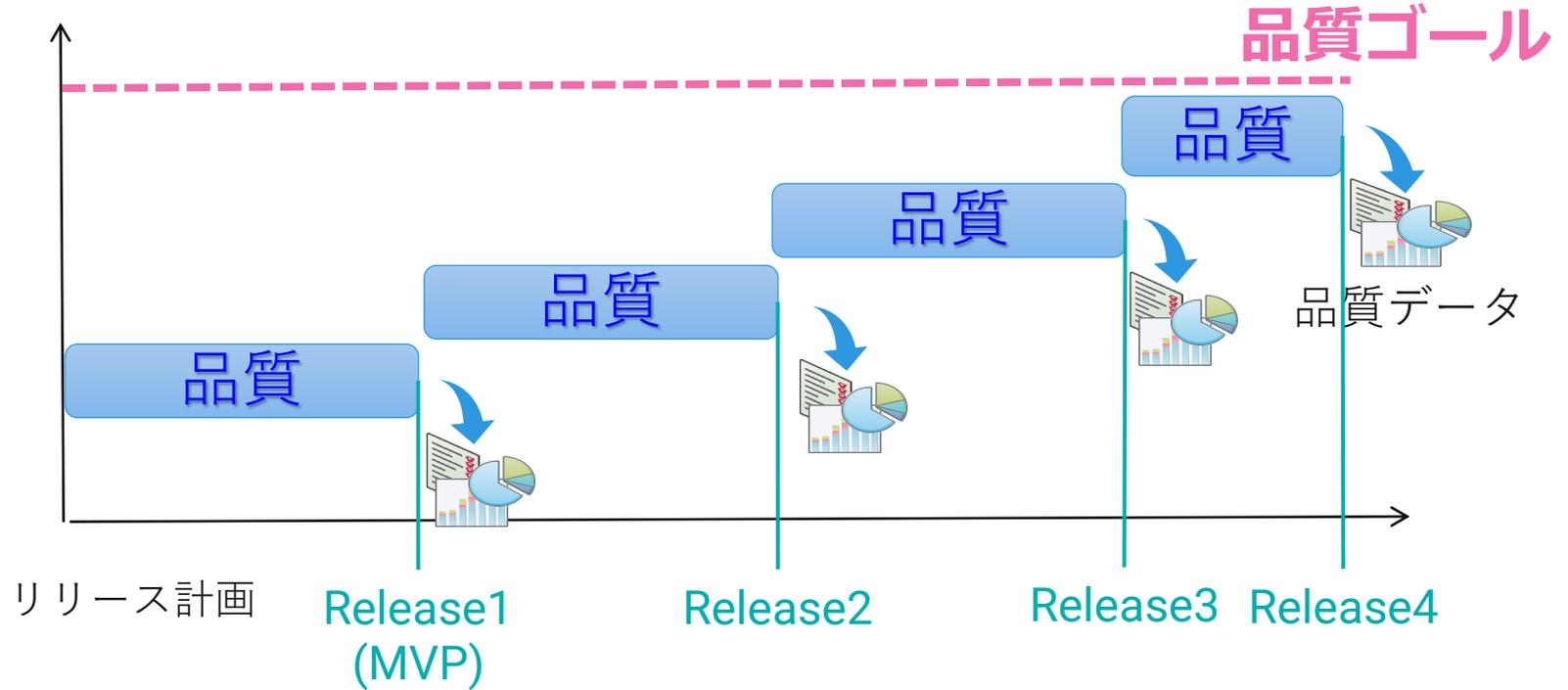
QAチーム

リリース計画と確保すべき品質を合意する



ユーザーストーリー
マッピング

テスト観点表

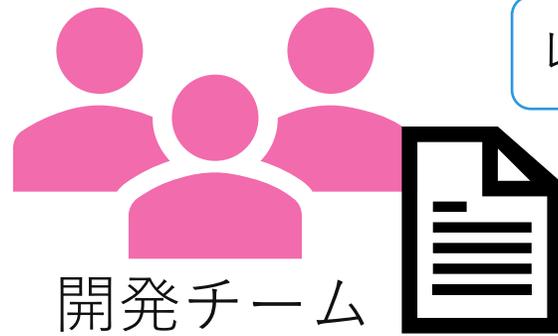


一体感の高まり、と同時に学びになる

やっときまーす！

06

通常のレビュープロセス



レビューをお願いします。

質問、指摘、フィードバック



時間ないのに...
次回までに期待する
成果物ができるか不安

これじゃテスト
できないよ...

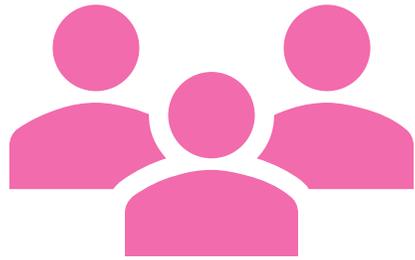
モブワークで一体感が高まる



なるほど。
そうやって作るのか。

不明点をその場で
説明してくれるので、
すぐに反映できる。

ドキュメントも製品の仕様も一緒に作る



開発チーム

この機能心配ですね？

そうですね。
リスクの可能性があるので
書いておきましょう。

次期バージョンのエンハンスに
入れたいですね。

そうですね。
こんな仕様だとどうですか？



QAチーム



開発チーム

次回ミーティングに
持ち越しますか？

だいたい分かったんで、
次回までに自分の宿題として
やっときまーす。

おー。すげー。



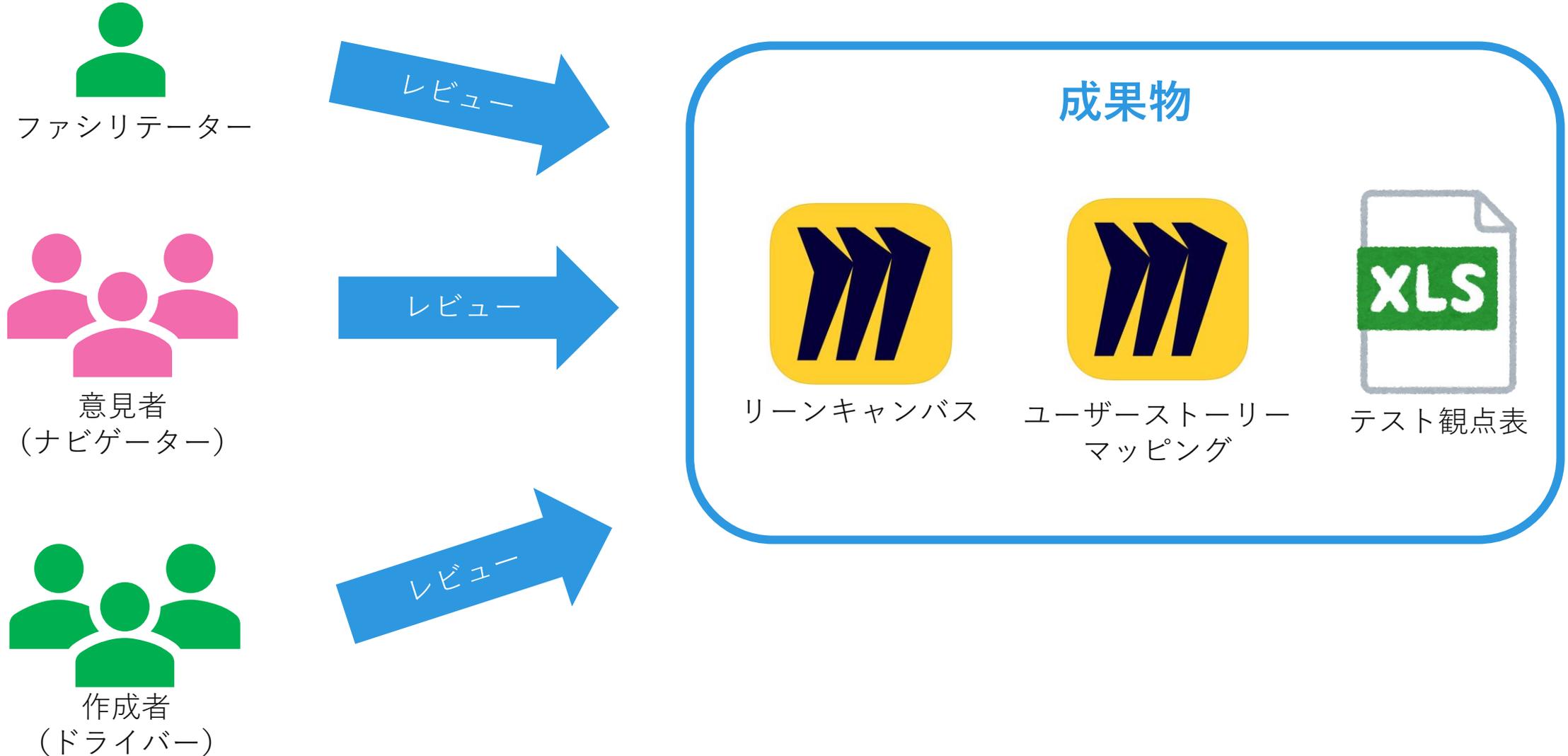
QAチーム

まとめと今後

効果を認識し、継続的に改善し続けよう！

07

全員で成果物を作成した



お互いの認識の共有と、共通の理解を得た



リーンキャンバス



大事にしたい指標を共有できた



ユーザーストーリーマッピング



それぞれの視点からの情報を共有でき、共通の理解を得た



テスト観点表



実行したテストと、まだテストが足りない部分が明確になった

ワークの中でスピーディーに合意できた



リーンキャンバス



ユーザーストーリーマッピング



テスト観点表



時間の無い中で、リリース計画の合意形成が即座にできた

リリース計画にもとづいて、確保すべき品質が明確になった

一体感が生まれ、お互いに学びになった



リーンキャンバス



ユーザーストーリーマッピング



テスト観点表



成果物も作るし、製品も一緒に作る感覚。

テスト設計のやり方が分かってきた。次回までに作る。

次の成果物は？



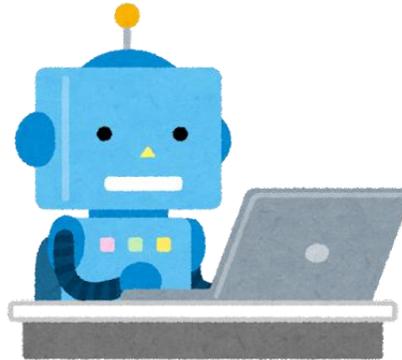
リーンキャンバス



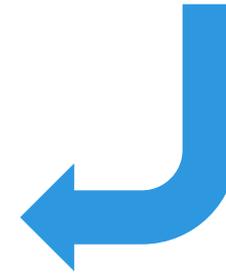
ユーザーストーリーマッピング



テスト観点表



テスト自動化フレームワーク



つづき

テストの自動化をしつつ、アーキテクチャの共通理解を得る

08

リグレッションテストを自動化



開発チーム

リリースの度に毎回同じテストするの辛いですね。

テストの自動化に取り組みましょう！

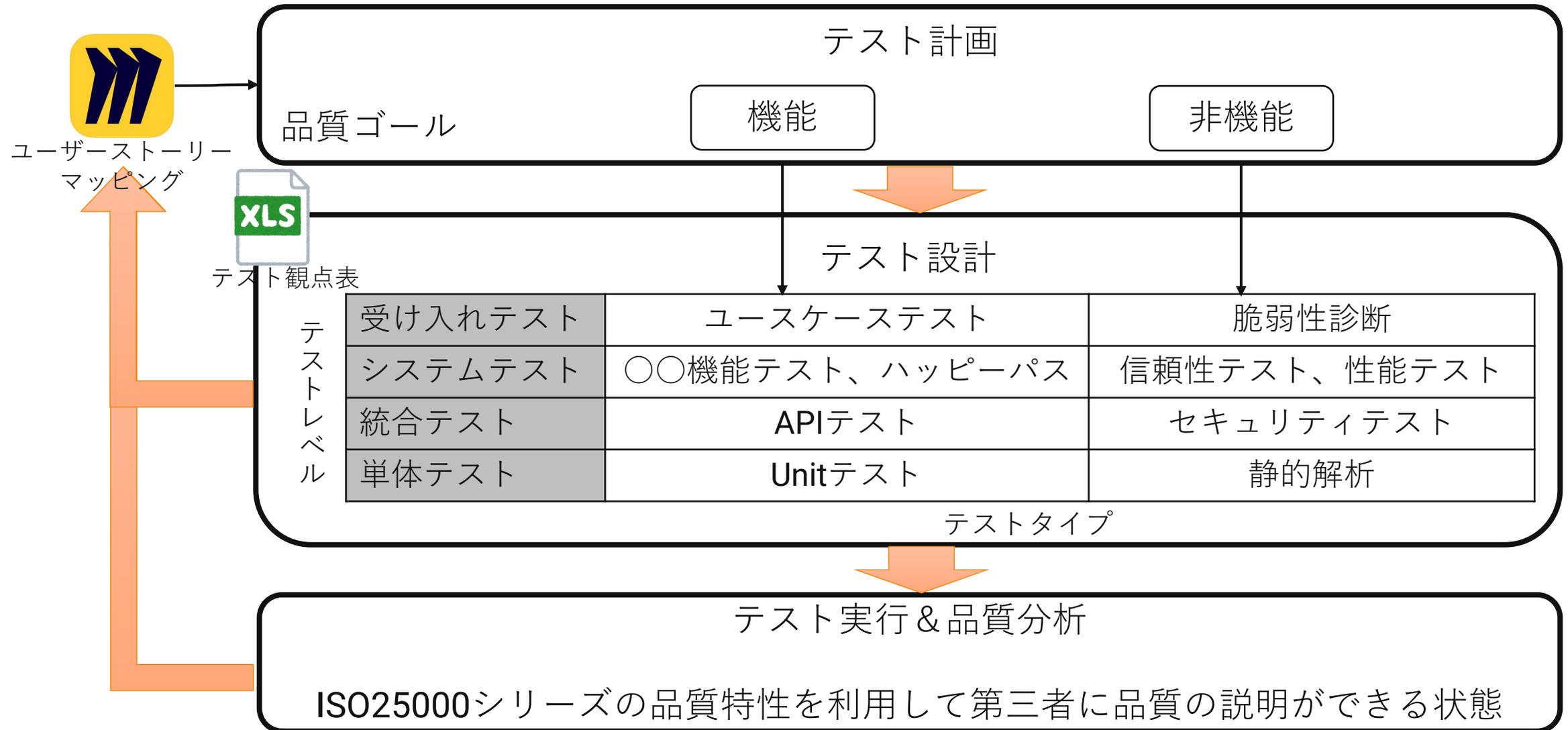
そもそもテストの自動化ってどうしていいかわからない。

一緒にモブで考えてみましょう！



QAチーム

テストは体系的にマネジメントし始めた



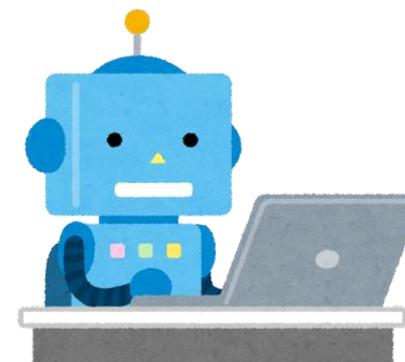
一度テストしたものはすべて自動化したい



テスト観点表

テストタイプ	
受け入れテスト	ユースケーステスト
システムテスト	〇〇機能テスト
統合テスト	APIテスト
単体テスト	Unitテスト

テストレベル



テスト自動化フレームワーク



開発チーム

テストケースをすべて自動化
となると、時間と工数が...

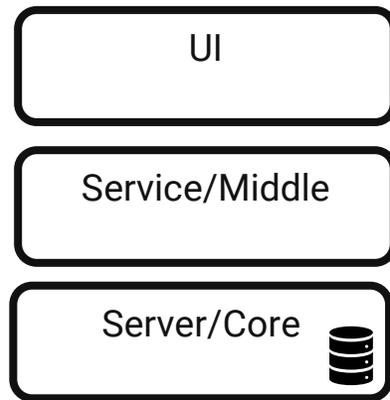
まずは網羅性を考えずに進めま
しょう！



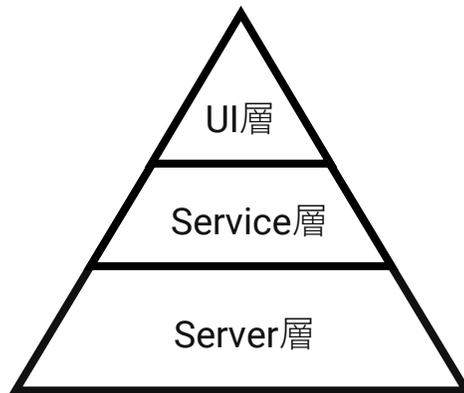
QAチーム

テストの層をイメージしてみる

アーキテクチャイメージ



テスト自動化ピラミッド

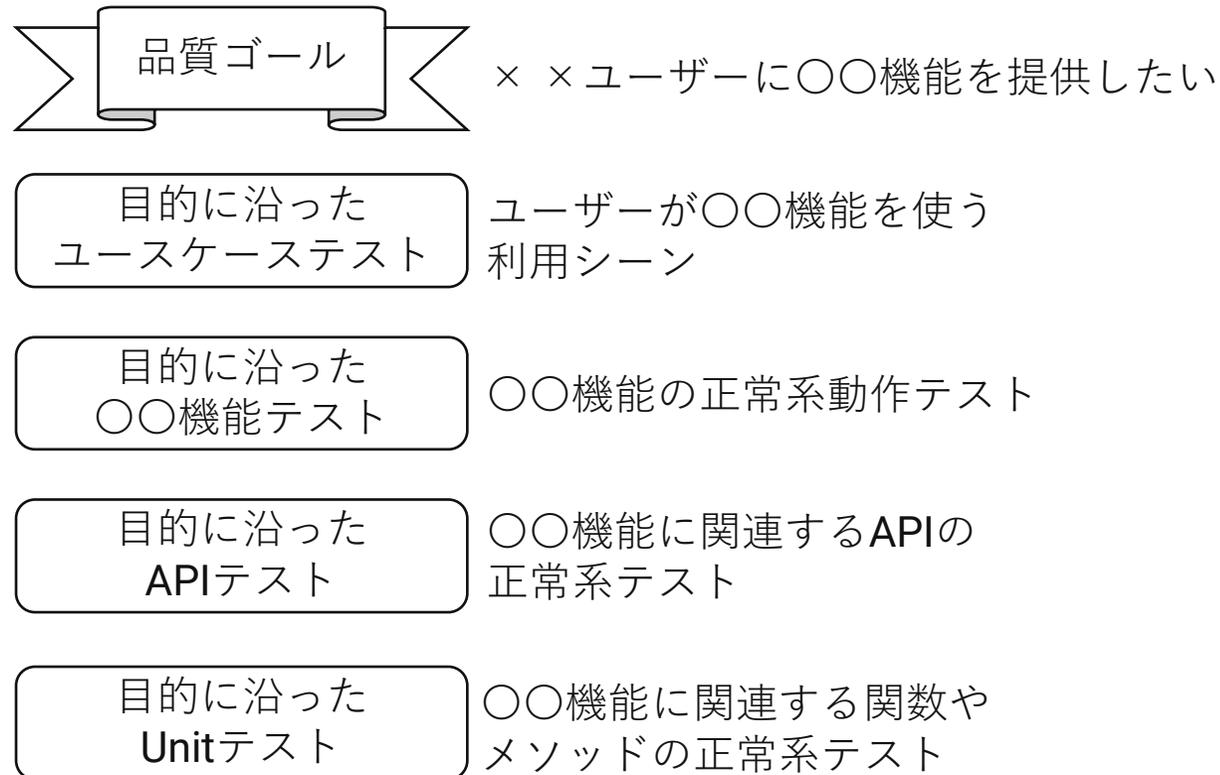


テスト設計

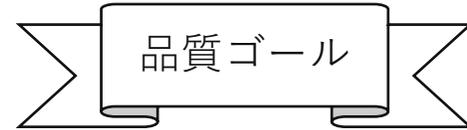
テストタイプ	
受け入れテスト	ユースケーステスト
システムテスト	〇〇機能テスト
統合テスト	APIテスト
単体テスト	Unitテスト

テストレベル

各層で正常系のテストから考える



各層で正常系のテストから考える



× ×ユーザーに〇〇機能を提供したい

目的に沿った
ユースケーステスト

ユーザーが〇〇機能を使う
利用シーン

E2Eテスト

目的に沿った
〇〇機能テスト

〇〇機能の正常系動作テスト

目的に沿った
APIテスト

〇〇機能に関連するAPIの
正常系テスト

APIテスト

目的に沿った
Unitテスト

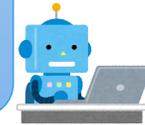
〇〇機能に関連する関数や
メソッドの正常系テスト

Unitテスト

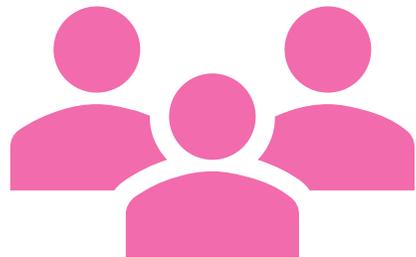
各層で正常系テストにフォーカスするのだったら出来そう。



QAチーム



開発チーム



開発チーム

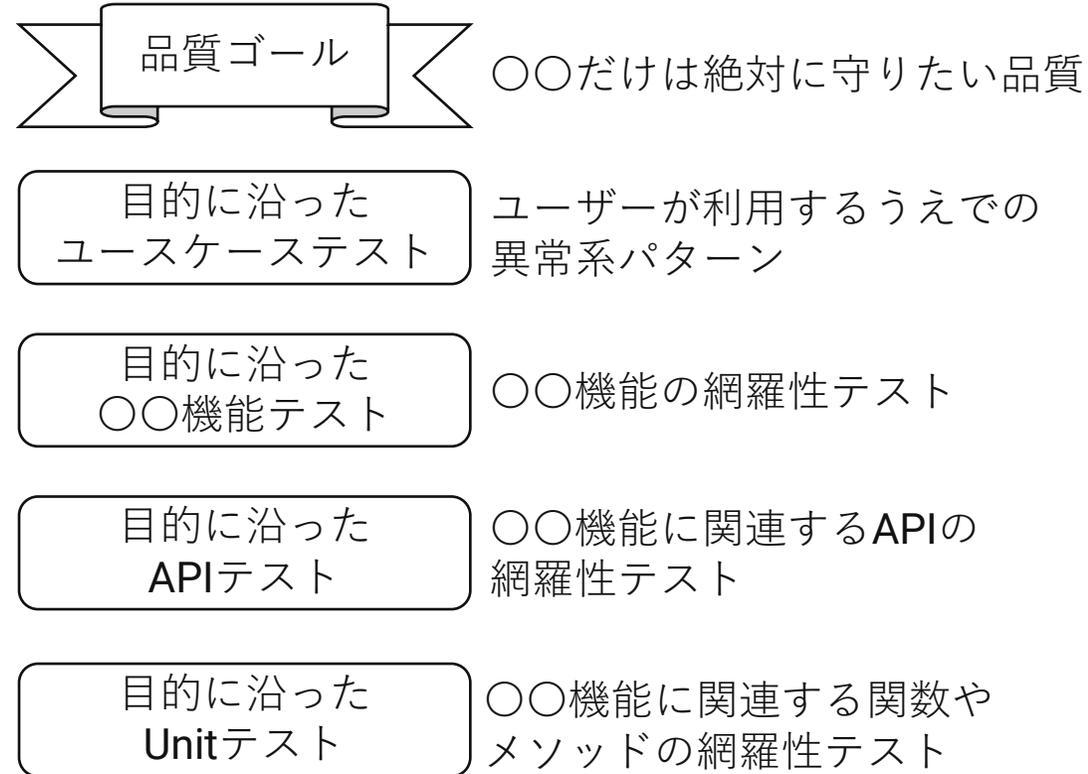
絶対に品質問題を起こしたくない箇所は網羅性を確保したい。

例えば、権限やロールの箇所はデシジョンテーブルを作ったり、再現性の低いマルチスレッド箇所はシーケンス図を作ったりします。

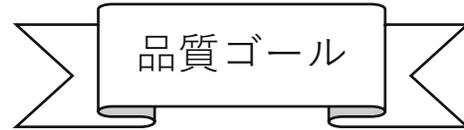


QAチーム

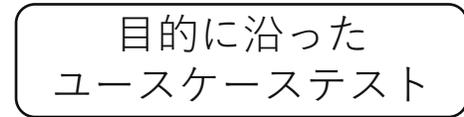
網羅性が必要な個所のテストを考える



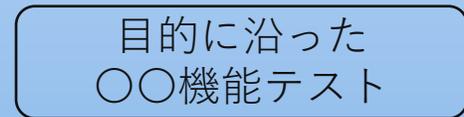
網羅性が必要な個所のテストを考える



〇〇だけは絶対に守りたい品質



ユーザーが利用するうえでの異常系パターン

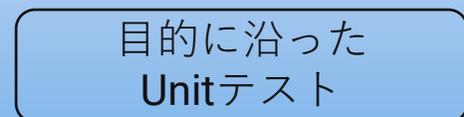


〇〇機能の網羅性テスト

デシジョン
テーブル



〇〇機能に関連するAPIの網羅性テスト



〇〇機能に関連する関数やメソッドの網羅性テスト

シーケンス図



フォーカスしたい部分のみに網羅性もつなら出来そう。



QAチーム



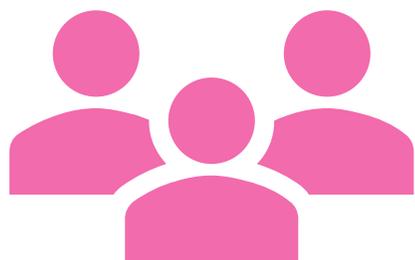
開発チーム

網羅性のあるテストが必要かどうかの議論

そもそも網羅性は必要ですか？

例えば、権限やロールはデータベースでしっかりと管理できているならば、APIやUIはシンプルな作りになっているはず。アーキテクチャを確認しましょう。

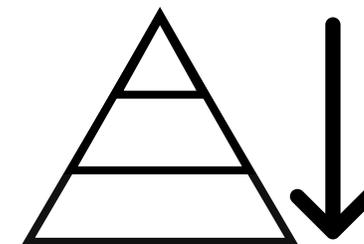
確かに。
アーキテクチャを図にしてみました。



開発チーム



QAチーム

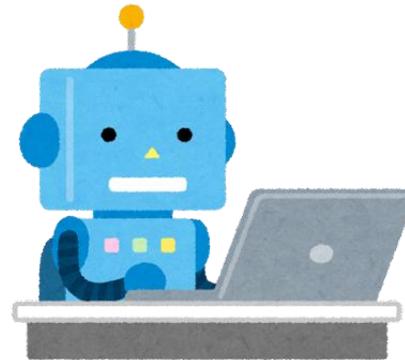


テストの自動化を基盤として、
成果物を作成しながら、
お互いにテストしたい箇所を学んだ。

E2Eテストフレームワーク

APIテストフレームワーク

Unitテストフレームワーク



デシジョンテーブル

シーケンス図

アーキテクチャ図

テスト自動化フレームワーク



要件定義書もない、仕様書もない、
もちろん、テスト設計書もない。

そんなプロジェクトに入って製品をリリースした経験
はありますか？

WingArc  1ST

The Data
Empowerment
Company

